



令和3年6月1日

各報道機関 御中

宮崎大学企画総務部
総務広報課長

宮崎大学のトピックス（5月分）の配信について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より本学の教育・研究・社会貢献活動についてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本学は地域活性化の中核的役割を果たす大学として日々様々な活動を行っております。その活動の概要は、大学のウェブサイト上にトピックスとして掲載し、幅広く地域の皆様に見ていただけるようしているところです。

そのトピックスを月毎にまとめたものを報道機関の皆様にお配りし、大学の活動を知っていただくとともに、記事として取り上げていただき、より地域の皆様の目に届けたいと思っております。

つきましては、是非一読していただき、取材していただくようお願いいたします。取材にあたっての関係部署との調整・取り次ぎ等は総務広報課広報係にお申し付けください。

敬具

① 発信元

宮崎大学企画総務部総務広報課

TEL : 0985-58-7114 FAX : 0985-58-2886

宮崎大学最近のトピックス（令和3年5月分）

1. 農学部教員が5つの学会賞受賞
2. 宮崎大学公開講座「世界の野球事情」を実施
3. 令和3年度広報特派員委嘱状交付式を実施

1. 農学部教員が5つの学会賞受賞

令和3年5月10日（月）、宮崎大学では各学会賞等を受賞した酒井正博農学部長を含む農学部教員4名が池ノ上克学長へ受賞報告を行った。

「日本森林学会賞」、「日本木材学会賞」および「日本魚病学会賞」は、当該分野における日本での最高賞であり、優れた研究業績をあげ、貴重な学術的貢献を為したと認められる者に授与される非常に栄誉ある賞である。



また、「日本水産学会水産学進歩賞」は当該学問分野の発展に大きく寄与した者に、「農芸化学奨励賞」は当該分野における優れた業績を上げ将来の発展が期待される若手研究者に対して与えられる賞で、今回の5分野における賞の獲得により、本学農学部の多様性に富んだ研究分野とその研究力の高さが示された。

池ノ上学長は、「農学部全体で若手が自由に研究できる環境を整えてきたことが今回の幅広い分野での受賞に繋がっている」と述べられ、これまで農学部が大切にしてきた研究に専念できる環境を守りながらも、更に高みを目指して欲しい旨の激励があった。

宮崎大学では、本年4月に設立された「みやざきSDGsプラットフォーム」の事務局を設置し、宮崎県全体の気運を高める活動をしており、特に農学部においては、地道な基礎研究を環境保護などにつなげる取組を強力に推進している。

受賞一覧

所属学科	受賞者名	賞名	研究・業績題目等
森林緑地環境科学科	伊藤 哲教授	日本森林学会賞	「生態系サービスを考慮した人工林の配置論と施業論」
森林緑地環境科学科	亀井 一郎教授	日本木材学会賞	「木質のバイオ燃料への変換を目指した白色腐朽菌および細菌共培養系構築に関する研究」
応用生物科学科	酒井 正博教授	日本魚病学会賞	これまでの魚類の自然免疫に関する一連の研究
応用生物科学科	黒木 勝久准教授	農芸化学奨励賞	「生物進化に伴った硫酸転移酵素機能の多様性に関する研究」
応用生物科学科	河野 智哉准教授	日本水産学会水産学進歩賞	「魚類サイトカインによる自然免疫応答の概日リズム制御に関する研究」

※河野准教授は当日欠席。

2. 宮崎大学公開講座「世界の野球事情」を実施

令和3年4月28日(日)から、Zoomを利用したオンライン形式で、日本とは全く異なる世界各地の野球事情について、国内外に発信するユニークな講座を実施している。

本講座は、宮崎大学が JICA 国際協力機構などをはじめとする海外におけるスポーツの普及活動を進める機関と連携しながら、世界各国で野球の指導経験がある日本人を講師に招き、年間20回シリーズで実施するもので、スリランカ、ブルキナファソ、コスタリカ、タンザニア、オーストリア、フィジーと、世界を飛び回るこれまでに例のない講座となっている。



第1回目のスリランカ編(4/28開催)は、アジア野球連盟審判長の小山克仁氏のプレイボールの発声の後、日本スリランカ野球友好協会関係者3名が講師を務め、「Playball Since 2002 -内戦・爆弾テロ事件を乗り越えて-」と題して、内戦中だった2002年に初代 JICA 野球隊員が派遣されてから、今日に至るまでの20年間の同国における野球の発展について、当時のナショナルチームの練習で利用していたグラウンドに、犬・牛・イグアナなどの様々な動物が出てくる様子を、写真などを交えながら説明がなされた。

第2回目はブルキナファソ編(5/12開催)では、日本プロ野球選手会事務局長の森忠仁氏のプレイボールの発声の後、元 JICA 海外協力隊野球隊員で、現在は北海道ベースボールリーグ代表を務める出合祐太氏が講師を務め、2008年に初代野球隊員として派遣され、野球人口20名程度の状況から、東京オリンピック予選に位置づけられる西アフリカ大会に参加するまでの過程を、苦労話を交えながら説明され、両講座ともに、北は北海道から南は沖縄まで、全国各地から約100名が視聴した。

第3回目は5月26日(水)にコスタリカ編を実施する。既に、9月末までの10講座(前期開講分)は定員に達したために、申込を終了しており、後期開催分は令和3年9月末を目処に申込受付を開始する予定としている。

今後、毎月第2第4水曜日の19:00-20:30を基本として実施し、第3回目は5月26日(水)にコスタリカ編を実施する。既に、9月末までの10講座(前期開講分)は定員に達したために、申込を終了しており、後期開催分は令和3年9月末を目処に申込受付を開始する予定としている。

■宮崎大学公開講座「世界の野球事情」日程 ()内は講師名

※日程は変更になることがあります。

【前期】

- 第1回：2021年4月28日(水) スリランカ(後田剛史郎氏 ほか)
- 第2回：2021年5月12日(水) ブルキナファソ(出合祐太氏)
- 第3回：2021年5月26日(水) コスタリカ(越智揚水氏 ほか)
- 第4回：2021年6月9日(水) タンザニア(友成晋也氏)
- 第5回：2021年6月23日(水) オーストリア(坂梨広幸氏 ほか)

- 第 6 回 : 2021 年 7 月 14 日 (水) フィジー (持田貴雄氏 ほか)
- 第 7 回 : 2021 年 7 月 28 日 (水) バングラデシュ (渡辺大樹氏)
- 第 8 回 : 2021 年 8 月 25 日 (水) ニカラグア (阿部翔太氏)
- 第 9 回 : 2021 年 9 月 8 日 (水) ウガンダ (田中勝久氏)
- 第 10 回 : 2021 年 9 月 22 日 (水) ハンガリー (小川真吾氏)

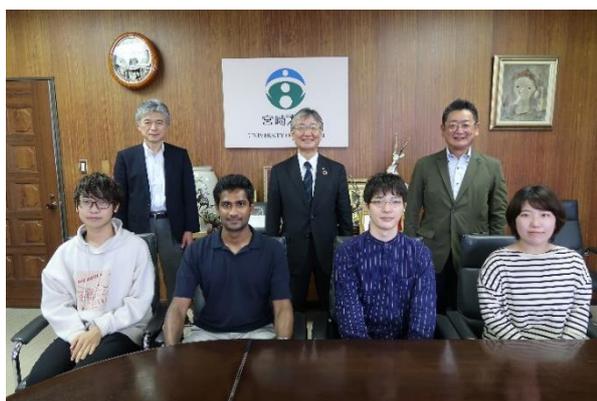
【後期】

- 第 11 回 : 2021 年 10 月 13 日 (水) ネパール (小林洋平氏 ほか)
- 第 12 回 : 2021 年 10 月 27 日 (水) 南スーダン (友成晋也氏)
- 第 13 回 : 2021 年 11 月 10 日 (水) インドネシア (野中寿人氏)
- 第 14 回 : 2021 年 11 月 24 日 (水) ジンバブエ (堤尚彦氏)
- 第 15 回 : 2021 年 12 月 8 日 (水) タイ (青山功氏)
- 第 16 回 : 2021 年 12 月 22 日 (水) ブラジル (大見翔氏 ほか)
- 第 17 回 : 2022 年 1 月 12 日 (水) ポーランド (坂元克己氏)
- 第 18 回 : 2022 年 1 月 26 日 (水) ボツワナ (中村藍子氏)
- 第 19 回 : 2022 年 2 月 9 日 (水) ベトナム (北堀学氏)
- 第 20 回 : 2022 年 2 月 23 日 (水) 総括 (阪長友仁氏)

3. 令和 3 年度広報特派員委嘱状交付式を実施

令和 3 年 5 月 17 日 (月)、宮崎大学では、令和 3 年度広報特派員への委嘱状交付式を実施した。

本学では、広報に関する事業を円滑に実施するため、本学の学部学生及び大学院生に「広報特派員」を委嘱し、学生の視点で他者に知らせたいと思うような話題等についての情報収集・提供といった広報業務への協力を依頼している。



今年度の交付式は、新型コロナウイルス感染症対策として、出席者を半数ずつに分け、2回実施することとし、1回目となる今回は、4名の特派員が出席した。

池ノ上克学長より、特派員へ委嘱状が交付され、特派員に対して学生の協力により本学の広報がより活性化されることへの期待が述べられた。特派員からも広報活動についての意見のみならず、自身の教育研究活動等について語られ、限られた時間の中で活発な意見交換が行われた。2回目の交付式は、5月24日(月)に実施予定である。